

2021年度 第4回 CReATE Seminar

Society5.0 研修会（第4回）

「ハイフレックス授業への取り組みから考える今後の授業のあり方」の研修を開催しました！



開催日 : 2021年7月29日(木) 14時50分~16時20分

実施方法: ハイフレックスによる実施

Zoomによるオンライン及び共通講義棟108教室での対面

内容 : (1) 授業実践例紹介

●15名程度のゼミ指導: 南埜猛先生、阪上弘彬先生

●美術・実技に関する授業: 前芝武史先生

●食物学・講義型の授業: 岸田恵津先生

(2) ディスカッション 司会: 永田智子先生

「対面で受講するのか、オンラインで受講するのか」を学生が選択できるようにする方法（ハイフレックス型授業）が、この間に普及してきました。その中で、実際に取り組んだ先生からは、技術面での難しさに加え、様々な課題があるとのことご意見も聞くようになりました。そこで、ハイフレックス型授業の実践例の紹介と、今後についてのディスカッションをする研修を開催しました。全学教職員を対象として開催し、50名程度の関係者が参加しました。

コンピュータ・大型モニタ



研修の前半では、前期にハイフレックス型授業に取り組まれた先生方から、事例を紹介していただきました。ゼミ指導や実技に関する授業など、異なる内容や形態でのハイフレックス型授業について紹介がなされました。



本研修は、Zoomによるオンラインと、会場（一つの教室）を併用したハイフレックス型で行いました。オンラインと対面を同時進行で行うときの様子を、参加者が体験できるようにしました。



評価の平均 3.77

研修に対して、満足度★3.77をいただきました！ハイフレックス型授業の実施については、教員一人ひとりが取り組めることと、大学側で環境を整えるべきことを確認することが大切になりそうです。

